

木下の書四卷上
明日のうらむの事を思ひこちうねとものふー世をまぬのん
鷹人ハタの精をやめくゆりきハタをさるめくハ安くとゆり
あさきれども明日の命ハあハタとちうねとものふとあき
一のやちうねこのをうをあきとちうねとものふとあき
あきとちうね同一ハこれ詞や

③ ちうねのありけちうねを思ひこちうねのかり人

古語よえめく③後ハ必きだちよえちうねのやそれぞ
ちうねけくちうね精人とちうねちうねハトハトとちうねちうね
ちうねにちうねあれちうねハトけちうねとものふハちうねとものふ
是ハ馬上の鷹や意ハ鷹よ結細あるちうねハ陰のちうね